

葛飾区

1. 令和元年度の達成目標・取組状況

令和元年度の達成目標	取組状況
1 入院患者の退院後支援 (1) 長期入院患者の病院訪問調査 (2) 東京都ガイドラインに基づく支援体制構築	長期入院患者の退院後支援については、平成30年度の調査を基に、長期入院患者が入院している病院を対象に、令和元年12月から令和2年1月、入院患者の調査を実施した。結果を取りまとめ、精神保健福祉包括ケア推進協議会で報告した。 「東京都における措置入院患者退院後支援ガイドライン」が令和2年1月に策定され、区でもガイドラインに沿った支援を行う準備を進めている。区では平成25年度より23条の対象者に保健センター保健師が支援をしており、退院後支援や在宅療養支援を強化するための検討を行った。
2 在宅療養支援体制の充実 (1) 実態把握 (2) 関係部所との協力体制の構築	在宅療養の実態については、令和元年9月に保健センターにおける精神障害者と高齢者家族の実態を確認した。 また、精神保健福祉包括ケア推進協議会や部会で在宅療養支援についてのテーマで検討を行った。
3 精神障害に関する普及啓発、家族等への支援	精神障害に関する普及啓発としての多種の講演会を効果的に実施するための検討を行った。家族支援の検討を行った。

2. 支援事業の成果

1 入院患者の退院後支援 長期入院患者の病院訪問調査 4病院に調査票を依頼し、4病院から回答をいただいた。回答人数67件、内有効回答数63件。 本調査は、病院職員に状況を確認しており、入院継続の要因などを病院ごとに確認することができた。調査の結果、長期入院患者の退院後支援にあたっては、医療機関と具体的な退院支援の仕組みを検討する必要がある。
2 在宅療養支援体制の充実 長期入院患者や保健センターの調査を基に、退院後支援及び在宅療養支援を強化するための検討を行った。平成2年度から多職種連携によるアウトリーチ支援事業を予算化した。
3 精神障害に関する普及啓発、家族等への支援 令和2年度は家族支援に向けて、準備している。

3. 次年度に向けた課題等

1 入院患者の退院後支援 体制整備の検討、各医療機関との退院後支援の仕組みを検討
2 在宅療養支援体制の充実 多職種連携によるアウトリーチ支援事業を円滑に実施するための準備
3 精神障害に関する普及啓発、家族等への支援 家族支援に向けての準備

4. 課題の解決に向けた 令和2年度の実施方針

- 1 入院患者の退院後支援
庁内や部会で退院後支援体制を検討
各医療機関と具体的な退院支援の仕組みを検討
- 2 在宅療養支援体制の充実
多職種連携によるアウトリーチ支援事業の円滑な実施
- 3 精神障害に関する普及啓発、家族等への支援
家族会への支援